

■条例等の一部改正

- ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・海士流産業育成型研修宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・海士町島の寺子屋、周辺施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・隠岐広域連合規約の一部を変更する規約

■人事案件

【海士町農業委員会委員の任命】

- ・海士町宇受賀 向山剛之氏
- ・海士町西 村上良夫氏
- ・海士町多井 美濃芳樹氏
- ・海士町東 波多剛氏
- ・海士町中里 万代忍氏
- ・海士町東 掛谷祐一氏

■請願

- ・(一社)島根県森林協会会長 速水雄一氏他3人からの、「森林環境税(仮称)の早期創設の実現について国会及び関係行政機関に対して意見書提出を求める請願」

# 一般質問

問 各公共施設のトイレの洋式化を

答 洋式化を計画的に進めて行く



杵築泰久 議員

(問) 一般家庭のトイレの洋式化はかなり進み、最近では和式トイレを知らない子どもたちも増えている。小、中学校や高校の児童生徒は、家庭とは違う和式タイプのトイレにストレスを感じてはいないか。一昨年11月に改築をした福井小学校はすべて洋式だが、海士小学校や海士中学校は和式が多い。快適な学校生活を送る為にも、海士小や中学校も福井小と同様に洋式に変えるべきだ。

また、明屋海岸、金光寺や隠岐神社などの観光地には家

族連れ、高齢者、外国人も訪れる。確かにトイレの使用頻度は低い、利用する人への気遣いが表れる場所だ。洋式に変えるだけでなく、手すりや柵などの設置も必要と考える。

多くの人が集まる場所としては地区公民館や中央公民館もある。福祉施設や学校も同様だが、場合によっては避難場所にもなり、色んな人がトイレを利用することになる。

このように、トイレの洋式化について町内の各公共施設を総点検してみるべきと考えるが、町長の考えを伺う。

(町長) 学校関係については、海士小学校は和式がまだトータルで9つあり、福井小学校はゼロ、中学校は10である。一気にはいかないが順次変えて行く方向性を持って、今後、教育委員会や学校と協議を重ねて行く。

高校は県立で所管が違うが、高校魅力化等で常に連携しており、高校の意向も聞いたうえで私は側面的に応援したいと思っている。

観光施設については、隠岐神社の講堂は改築し洋式化した。明屋海岸や金光寺は今後の問題だ。観光休憩所の改修も含めて、計画の中には洋式化を順次やっていく方向があり、その方向で進めたい。身障者の方など色んな方が利用されるので、洋式化の視点は大事だと思っている。

公民館関係については、建物は町の所有だが、地区公民館という契約を結んでいるので、改修繕工事には地区の負担も伴う。それぞれの地区の予算の都合もあり、公民館長会議等で話をしていきたい。勿論、町が応分の負担をする制度は変わらないのでその対応をして行く。

地区にはお年寄りも多いわけ、考え方は学校、観光地、公民館に関係なく、これは生活改善の一端であるので、関係部署との話し合いの中で計画的に進めて行きたい。

# 議会だより



## 6月定例議会

第51回定例会が、6月20日・21日の2日間の日程で開催され、町長の提案理由説明の後、

- ・ 専決処分承認の件 1件
- ・ 報告の件 1件
- ・ 平成29年度補正予算 3件
- ・ 条例等の一部改正の件 4件
- ・ 人事案件 1件
- ・ 請願の件 1件

以上の10案件が上程され、慎重審議の結果、原案どおり全会一致で承認可決され、請願は採択いたしました。承認可決された主な内容は、以下のとおりです。

### ■専決処分（地方公共団体で、議会在議決すべき事項を、一定の場合に限り長が処理すること）

- ・ 平成 28 年度海士町一般会計補正予算
- ・ 平成 28 年度海士町国保事業勘定特別会計補正予算
- ・ 平成 28 年度海士町国保診療施設勘定特別会計補正予算
- ・ 平成 28 年度海士町国保歯科診療施設勘定特別会計補正予算
- ・ 平成 28 年度海士町簡易水道特別会計補正予算
- ・ 平成 28 年度海士町下水道特別会計補正予算
- ・ 平成 28 年度海士町後期高齢者医療特別会計補正予算

（以上 7 会計の補正予算は、年度末の実績見込みによる補正）

- ・ 職員の旅費に関する条例等の一部を改正する条例
- ・ 海士町税条例の一部を改正する条例
- ・ 海士町国民健康保険条例の一部を改正する条例

### ■補正予算

#### 【一般会計】

平成 29 年度海士町一般会計予算に 3 億 2,997 万 3 千円を追加し、予算総額 5 億 7,483 万 2 千円とするもので、主な内容は次のとおりです。

|             |                |
|-------------|----------------|
| ▼福祉人材確保事業   | 5 9 0 万円       |
| ▼託児所設置事業    | 3 1 6 万円       |
| ▼農福連携事業     | 1 億 2,7 0 0 万円 |
| ▼いわがき種苗畜養筏  | 5 0 6 万円       |
| ▼種苗センター建設事業 | 1 億 1,1 0 0 万円 |
| ▼交流スペース整備事業 | 1, 0 3 0 万円    |
| ▼道路改良事業     | 1, 4 4 0 万円    |

#### 【特別会計】

- ・ 平成 29 年度国保事業勘定予算 5 2 万 6 千円を追加し、予算総額 4 億 1, 7 1 3 万 1 千円とする。
- ・ 平成 29 年度下水道予算 6 6 7 万 1 千円を追加し、予算総額 3 億 3,5 5 4 万 3 千円とする。

### ■報告の件

#### 繰越明許費（※用語の説明は下記）

合計で 6 億 7, 8 3 9 万 9 千円ですが、明細は次のとおりです。（万円未満切り捨てて表記）

|                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| ・ 地方公共団体情報システム機構負担金 | 1 7 万円          |
| ・ 御波地区地籍調査事業        | 3 2 4 万円        |
| ・ 離島活性化ライスセンター建設事業  | 1 億 3 1 7 万円    |
| ・ 農業基盤整備促進事業        | 5 1 3 万円        |
| ・ 県単ため池安全確保事業       | 3 5 7 万円        |
| ・ 水産物増養殖振興事業        | 3 8 5 万円        |
| ・ C A S 凍結センター改修事業  | 2 億 2 8 2 万円    |
| ・ 港整備交付金事業（菱浦漁港）    | 8, 9 7 4 万円     |
| ・ 社会資本整備総合交付金事業     | 1, 8 0 5 万円     |
| ・ 港整備交付金事業（諏訪港）     | 1, 5 4 8 万円     |
| ・ 諏訪港物揚場整備事業        | 4 0 1 万円        |
| ・ 空き家同居撤去事業         | 2 1 3 万円        |
| ・ 産業体験滞在施設整備事業      | 1 億 2, 6 9 7 万円 |
| ・ 教員住宅整備事業          | 1 億円            |

### （※）繰越明許費とは

経費の性質や予算成立後のなんらかの理由で、その年度内に支出が終わらない見込みがあるものについて、議会の議決を得て翌年度に限り繰り越して使用できるようにする予算をいいます。



廃船年齢に達した船を加える  
と、今後かなりの廃船処理が  
不可避であり、漁港管理者、  
港湾管理者として、港の健全  
な管理、放置船の減少対策、  
漁業者の負担軽減等々、早急  
に対策をとる必要があると認  
識している。

現在、FRP破砕中間処理  
場の整備についてはまだ模索  
中だが、指定取引場所として  
許可を取得し、或いはFRP  
破砕中間処理の委託処理業者  
として、分別、粗破砕、そし  
て処理場に送るまでの処理が  
可能となる施設整備或いは運  
用を考えている。

ただ推定事業費を考えると、  
約3億2千万円の財源確保が  
必要で、処理場建設地の選定、  
運営事業者等も綿密に検討す  
る必要があると思っている。  
関係機関と連携し、国の助成  
制度を活用しながら事業化に  
向けて取り組みを行いたい。

## ～島根県町村監査事務功労者表彰～

### 代表監査委員 中本勝利氏

島根県町村監査委員協議会副会長にも就任

去る7月19日、松江市のホテル白鳥で開催された島根県  
町村監査委員協議会の総会において、中本勝利代表監査委員  
が、島根県町村監査委員協議会会長から町村監査事務功労者  
表彰（在職6年以上）を受賞されました。



平成23年4月の就任以来今日まで、町の代表監査委員として、財務的視点や事業の妥当性や有効性な  
どの視点から、財政の健全性や決算の正確性について監査を実施し、地方自治の発展に寄与された功績  
によるものです。

また同総会において、同氏は島根県監査委員協議会副会長に選任されました。任期は、平成31年7月  
までの2年間です。

今後も一層のご活躍を期待いたします。誠におめでとうございます。

## 活動日誌

6月

6月定例会  
駐在所連絡協議会総会  
農業委員会  
県町村議長会正副会長会  
隠岐ひまわり基金法律事務所  
開設2周年シンポジウム

7月

国会報告会  
政調会  
島根県商工会青年部連合会  
総会・研修会  
西ノ島町制施行60周年  
記念式典  
島根県町村監査委員協議会  
総会・研修会  
例月現金出納検査  
古代史講演会

8月

隠岐神社奉賛会総会  
広報調査特別委員会  
政調会  
8月臨時会  
成人式  
隠岐広域議会運営委員会  
例月現金出納検査  
広報研修会  
キンニヤモニヤ祭り  
隠岐広域議会全員協議会  
市町村総合事務組合議会

## 編集後記

台風5号の襲来が心配され  
たが、予想を大きく外れ、各  
地では大雨の被害が報道され  
たものの、隠岐へは恵みの雨  
をもたらして通り過ぎた。  
作物の水不足が懸念された  
中で、水稲は出穂の真つ盛り、  
この降雨によって豊作が予想  
される。今後病害虫の発生に  
見舞われることなく、黄金の  
稲穂が一面を覆う9月の水田  
風景を眺めたいものだ。

家庭菜園も生き生きとして  
きた。海士の野菜は美味しい  
と定評がある。これから秋冬  
野菜の種子まきの時期を迎え  
る。子どもを交えた家族で取  
り組む野菜作りを試みてみた  
らどうだろうか。

猛暑というより、酷暑が続  
いている。熱中症に留意して  
この夏を乗り越えたい。議会  
へのご意見、議会広報に対す  
るご要望等お寄せください。

(上田正子 記)



問 職員の手による行政史の発行を

答 行政史を後世に残すことは大事

(問) 海士町は、「平成の大合併」の外圧に怯むことなく単独町政を選択し、その後の地財ショックと三位一体改革の逆境の中、守りと攻めの対策を繰り出して町政改革を進めてきた。しかし、こうした行政の記録は当事者の記録としてしか存在しないことが多く、本町の優れた取り組み事例がせいぜい30年で消え去ってしまうのではないかと心配している。

町長の意識改革に培われた実績を見る限り、決して不可能ではない。

町長は職員の能力アップに資する環境づくりに努め、職員も良くその期待に応え、今の海士町に変えたと言っても過言ではない、私はそんな風に評価している。職員も自らの仕事をこうした本形にまとめ上げるといふことは、得難い体験になるに違いない。

以上の提案に対して町長の考えを問う。

(町長) 行政史を残すことは大事と思うが、それを職員の

そこで行政史を一冊の書物にまとめておく必要があるのではないか。私はそれを職員自らの手で出版することを提案したい。そうすれば次世代の一つの町づくりの指針となり、その後の改革に繋がって行く事は確かかなことだろう。



波多紀昭 議員

手によってということ、今の職員の働き状況を見たところでは難しい。そこまで私から求めることは酷ではないかと思う。

ただ記録を残すことについては大賛成だし、どういう形であれ残すということを将来的にはやって行かなければならないと思っている。残し方については、取材の方法もあるし聞き書き等もある。

ただうれしいことは、若い職員たちが海士町の将来に向けて、50年先を見据えた色々な思いを語りながら、取り組んでいることだ。この姿勢に対して敬意を表し、ありがたいことだと思っている。

しかし、職員の手による出版することは、はっきり言って今は難しいと思っている。

問 放置FRP廃船の処理対策は？

答 国の助成制度等を活用して対応

(問) 町内の各港でFRP船(IIガラス繊維強化プラスチックで造船された船が廃船状態で放置されているが、町として調査したことがあるか。

FRP船の処理処分は大変困難で、処理費も1トン当たり15万円以上かかると言われている。新しい所有者が見つかったり、漁礁に再利用できたりすれば良いが、中々スムーズにはいかない。

一般廃棄物の処理処分は町長の固有事務、産業廃棄物は県の管轄になるが、町としてFRP船の放置対策、廃船対策をどう考えているか。

(町長) 廃船の状況については調査をしている。FRP船は昭和40年代以降、その強度と耐久性から多く利用された反面、その特性から処分が高額な費用がかかることが不法投棄の原因ではないかと思う。

水産庁では平成34年まで

に放置艇ゼロを目指す推進計画を掲げているが、県内における放置艇率76.6%は、全国平均の50%を大きく上回っている。

漁船寿命は24年とされており、登録漁船数は現在369隻、その他の船を加えると400隻以上の船が存在している。その内、新造後25年を経過した船は262隻で、全体の71%に上る。担当課では陸揚げ放置の船を町内で30隻近く確認しているが、そのほとんどが所有者不明ということだ。

こうした放置船に合わせ、



中村等光 議員